

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	憩いの空間・安心安全な魅力ある公園づくり（防災・安全）				変更回数	2	重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）		交付対象	野々市市				
計画の目標								

・野々市中央公園は、本市の中西部に位置し都市公園事業により市内唯一の総合公園として整備され、昭和54年に3.1ha供用開始し、平成元年に6.7ha供用区域が変更された。当公園は、野々市市防災地域防災計画の防災拠点として位置づけられており、不足している緊急車両待機駐車場やベースキャンパススペース等のため、駐車場の拡張整備やバリアフリー化、園路やトイレのバリアフリー化など、活動拠点に使用されることになる防災広場の再整備が急務である。又、平成29年3月に「全国椿サミット野々市大会」の開催が決定されたことにより、これを機に総合公園内に市民や来客者が椿に親しみ、憩いの場所となる「椿山(椿園路)」「椿の小路」を設け、市の象徴的な市花木「椿」の拠点づくりを目指し、市総合公園としての魅力を増進するとともに安全安心や快適性の向上を図る。

・誰もが安全で安心して利用できるように、老朽化した遊戯施設、運動施設の計画的な改築を行う。

計画の成果目標（定量的指標）

野々市中央公園（防災拠点）の駐車台数増強：68台（平成26年度末）→103台（平成32年度末）
 野々市市公園施設長寿命化計画に基づき更新または改築を行った施設の割合：0%（平成26年度末）→72%（平成32年度末）

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値					備考						
	当初現況値 (H27当初)		最終目標値 (H32末)									
	野々市中央公園（防災拠点）の駐車台数を増強する。 更新または改築を行った公園の数 / 野々市市公園施設長寿命化計画に定められた施設の更新または改築が必要な公園数（70公園）	68台	103台	0%	72%							
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	578百万円	A	551百万円	B	-	C	27百万円	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	4.7%

交付対象事業

A6 都市防災・公園事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	H32				
1-A-1	公園	一般	野々市市	直接	野々市市	都市公園等事業（野々市中央公園）	施設整備 6.7ha	野々市市						326	-	-	
1-A-2	公園	一般	野々市市	直接	野々市市	野々市市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化計画（1箇所） 長寿命化対策（野々市中央公園等51公園に おける施設公園施設の改築・更新）	野々市市						225	-	H25年 策定済	長寿命化計画 (5百万円) 長寿命化対策 (220百万円)
小計（都市防災・公園事業）												551	-	-			

C 効果促進事業

C6 都市防災・公園事業効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
1-C-1	公園	一般	野々市市	直接	野々市市	野々市市効果促進事業	野々市南部公園駐車場施設整備	野々市市						27	
小計												27			
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		
1-C-1	野々市南部公園は本市の一時的避難所に指定されており、誰もが安全で安心して利用できるよう災害時の利活用も可能な駐車場を整備することにより、避難所としての機能向上を図る。														

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考		

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成30年1月15日

計画の名称	憩いの空間・安心安全な魅力ある公園づくり（防災・安全）			変更回数	2	重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）	交付対象	野々市市				
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 野々市中央公園は、本市の中西部に位置し都市公園事業により市内唯一の総合公園として整備され、昭和54年に3.1ha供用開始し、平成元年に6.7ha供用区域が変更された。当公園は、野々市市防災地域防災計画の防災拠点として位置づけられており、不足している緊急車両待機駐車場やベースキャンパススペース等のため、駐車場の拡張整備やバリアフリー化、園路やトイレのバリアフリー化など、活動拠点に使用されることになる防災広場の再整備が急務である。又、平成29年3月に「全国椿サミット野々市大会」の開催が決定されたことにより、これを機に総合公園内に市民や来客者が椿に親しみ、憩いの場所となる「椿山（椿園路）」「椿の小路」を設け、市の象徴的な市花木「椿」の拠点づくりを目指し、市総合公園としての魅力を増進するとともに安全安心や快適性の向上を図る。 誰もが安全で安心して利用できるように、老朽化した遊戯施設、運動施設の計画的な改築を行う。 						

交付金の執行状況

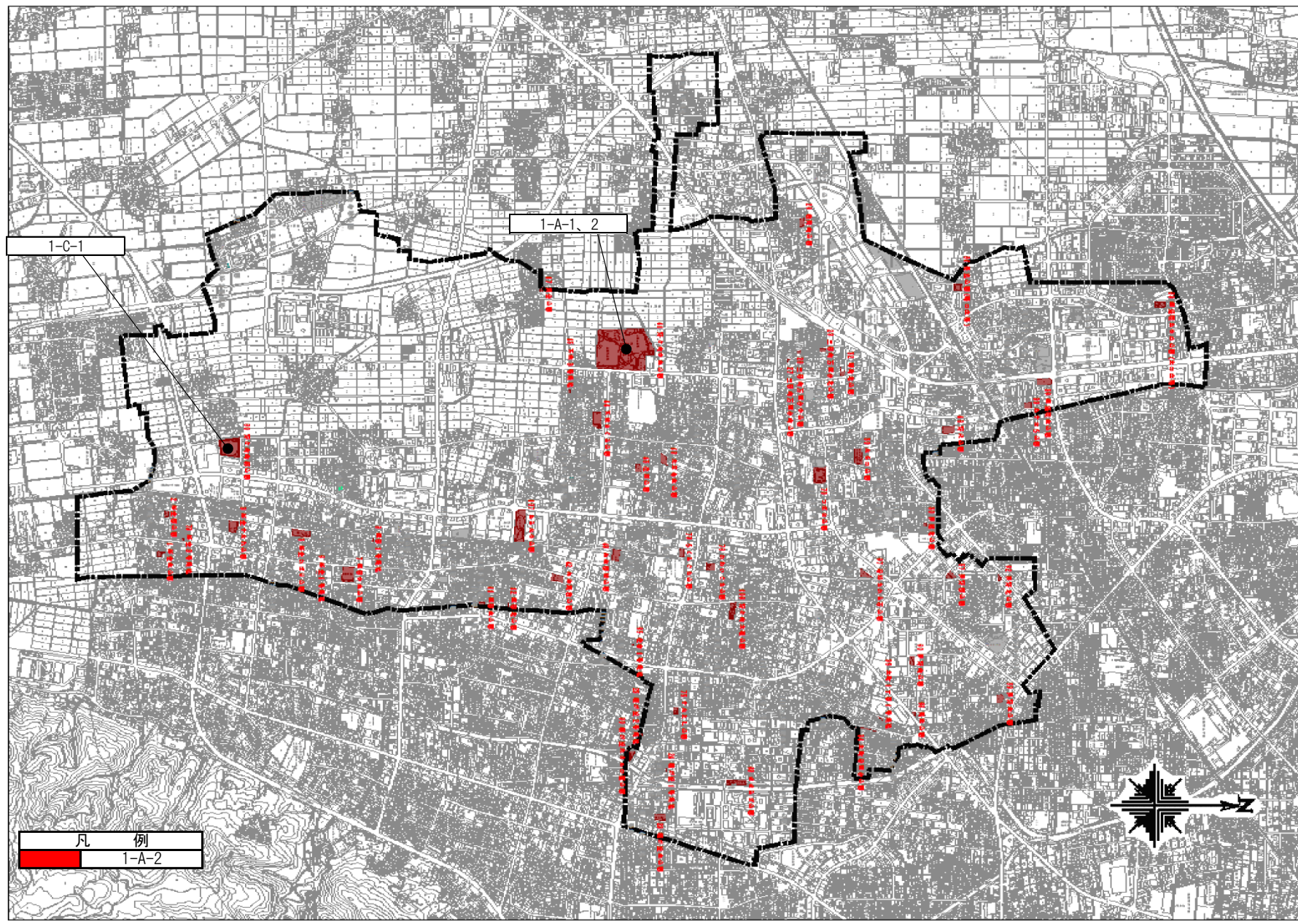
（単位：百万円）

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	140	60	8	6	4
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	140	60	8	6	4
前年度からの繰越額 (d)	77.6	0	0	0	0
支払済額 (e)	217.6	60	8	6	0
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	-	-	-	-	

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	憩いの空間・安心安全な魅力ある公園づくり (防災・安全)	変更回数	2
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	野々市市



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 憩いの空間・安心安全な魅力ある公園づくり(防災・安全) 事業主体名: 野々市市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
2) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
2) 定量的指標の明瞭性が確保されている。	○
3) 目標と事業内容との整合性が確保されている。	○
4) 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みが妥当である。	○
III. 整備計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境が整えられている。(事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性)	○
2) 地元の機運がある。(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○